

2021年度「人材発掘」入試・  
学部3年次生特別入試枠  
法学既修者認定試験  
2021年度 追試験

# 刑事訴訟法

(問題)

## 注意事項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名、科目名を記入してください。受験番号は正確に間違いに記入してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

解答は『解答用紙 (G)』を使用してください

問題 (60 点)

暴力団W組の構成員であるXは、覚醒剤取締法違反事件で令和2年7月2日に逮捕され、同月3日に勾留された。司法警察員Kは、Xを取り調べ、同月5日午前10時頃、覚醒剤を保管している場所についての供述を得た。そこで、Kは、取調べを中断し、覚醒剤の捜索差押えの終了後にこれを再開することにして、直ちに令状請求の準備に着手したが、同日午前11時頃、弁護士Aが、Xとの接見を求めて警察署にやってきた。Kは、AがW組の幹部であるYの弁護人をおかたつて務め、現在でもYと親しい関係にあることを把握しており、AをXと接見させると、Xが覚醒剤の保管場所についてKに供述したということが直ちにYに伝わって、捜索差押えに支障が生じるおそれがあると考えた。

この場合に、Kは、捜索差押えの終了予定時刻である7月5日午後4時以降に接見の日時を指定することはできるか。

〔以下余白〕